

こんにちは。  
町長です。



## 小鹿野町消防団について思う

町民の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じ上げます。さて、「光陰矢のごとし」と申しますが、師走を迎え月日の経つのは大変早い気がします。

ところで、先月11日には、小鹿野町消防団特別点検が実施されました。大旗団長統率の下、団員の規律ある態度による部隊点検、訓練された消防操法などが実施され、点検者(町長)として高い評価をいたしました。特に、今回の特別点検では、第1支団第5分団に女性団員が加入して消防操法にも隊員として参加し、見事な活躍をされておりました。また、第1支団第3分団に配属した小型動力ポンプ付軽積載車による消防操法も初めて実施されました。

本町消防団は、埼玉県下でも有数の消防団であり、点検日現在で団員数548人(定員620人)、分団数23分団(特別分団1団含む)、車両39台(指令車1台、水槽付ポンプ車3台、小型動力ポンプ付水槽車3台、同積載車25台、同軽積載車7台)と人員、機械器具も大変充実していると思います。

団員数においては、さいたま市消防団、秩父市消防団について3位ですが、人口比率においては、県内トップの組織率となっています。

これらの人員と機械器具を活用して町民の生命と財産を守る消防団の普段の活動に対し、心から感謝を申

し上げます。近年では消防団による予防消防活動のお陰で、町民の防火意識も高揚したことなどから幸いにも火災発生件数は減少しております。消防団には、引き続きこのような消防団活動を行っていただきたいと存じます。

さて、消防団員の皆様は、自分のお仕事を持ちながらの活動ということで大変ご苦労されていると思います。私も消防団の経験がございますので、その辺のところは分かっているつもりですが、近年では以前にも増して厳しい経済環境の中で消防団活動に時間を割くことが、より困難な状況になっているように感じます。また、団員の高齢化が進み若い団員の確保も大きな課題となっています。

そのような中でも是非、現消防団員の皆様には自治消防の「自分たちのまちは自分たちで守る」という基本理念に立ち返り、消防団活動に精励していただきたいと思います。町民の皆様は消防団員の姿を見ています。また、頼りにもしています。消防団がしっかりしているまちは、自治意識の高いまちであると存じます。

これからは地球温暖化の進行などにより、自然災害も大規模化するなど想定外の災害が発生することが懸念されています。地域に密着している消防団には色々な面でご協力を賜ることが多いかと存じますが、是非とも町民の生命と財産を守る砦としての役割を果たしていけるよう頑張ってくださいと思います。

小鹿野町長 森 真太郎